

卒業生 interview

8期生 1996年卒業

藤田 雅也

Masaya FUJITA

1978 年生まれ。岡山市出身。
岡山大学 教育学部美術教育講座・教授。
専門は、彫刻(石彫)、美術教育。
「生命」や「誕生」をテーマに、石を素材とした
彫刻表現を追究しています。

・2002年4月～2008年3月
愛知県公立中学校 教諭(美術科)
・2008年4月～2016年3月
名古屋経済大学 短期大学部保育科
講師・准教授
・2016年4月～2025年3月
静岡県立大学 短期大学部 こども学科
准教授・教授

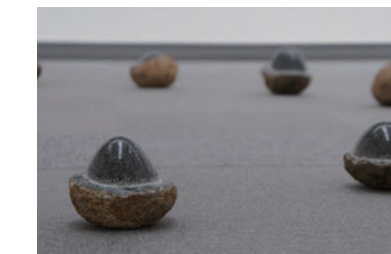
E-mail : fujita0101@okayama-u.ac.jp

—美術工芸系を選んでよかったと 思うことを教えてください

創作活動に3年間没頭できたことが
よかったです。周囲の人たちの表現力に
圧倒されて、思うように描けない自分に
苦しみもありましたが、先生方や仲
間がいつも寄り添い、たくさんの刺激を



石を彫ることの楽しさに出会い、制作と発表
を続けています



インド産の錆ゴロタ石を素材とした石彫
作品《大地の種》は、これまでに約200個
制作しました



中学校教員時代には、毎日生徒のノートに
手づくりの消しゴムはんこを押していました



総社南高校の校内に私の石彫作品
《大地から》が設置されています

与えてくれたおかげで、有意義な3年間
を過ごすことができました。

—高校を卒業して現在までのことを 教えてください

高校卒業後は大学に進学し、美術教育を
専門的に学びました。在学中には、「石彫」
の授業に会い、それからは、いろいろな
種類の石を使った表現を追究してきま
した。大学卒業後は、夢だった中学校の教師
になり、生徒と共に美術の時間を楽しみ、
部活動や行事にも力を入れて取り組んでき
ました。中学校の教師をしながら、美術
教育の研究会に参加したり、彫刻制作を続
けたりする中で、美術教育を研究する仕事
に就きたいと思い、大学の教員になる道へ
と転身しました。

—今のお仕事について教えてください

2025年4月からは岡山大学に勤務し、
美術教育や彫刻などの授業を担当してい

ます。小学校や中学校、高等学校の先生に
なることを目指す学生の皆さんが、図画
工作・美術の教員として必要な力を身に
つけることができるように、私自身も
日々一緒に学びを深めています。また、小中
学校や高等学校の先生方、美術館や企業、
地域の方々などと共に、これからの未来を
明るく豊かに生きていくために大切な美術
教育についての研究を進めています。

—中学＆高校時代の過ごし方の アドバイスをお願いします

皆さんの身の回りの生活の中から、自分
なりの「美」を発見する心を大切にしま
い、いろいろな人と出会ったり、いろいろな場所
に行ったりして、五感を通して目の前の
世界とかわかり、感じてみてください。
たくさんのお会いや発見は、これからの
皆さんの人生を大きく開花させていく
ための種になると思います。

総社南
高校

美術 工芸系

Learning · Creation · Expression



将来、美術デザイン分野で活躍したいと考えている人に、美術系の大学
への進学に必要な造形力と表現力を身に付けるために普通科内に設置
された、県内公立高校唯一の系です。

県内には他にもデザイン科や芸術コースなどを持つ学校もありますが、
大きく異なる点は普通科であるということです。

国公立の美術系大学や、難関私立大学は美術の実技だけではなく、学力
も必要になります。普通科である本校は、実技と学科の学習をバランス
よく学ぶことができます。

年間行事

6月

・高校生美術コンクール
参加



7月

・デッサン講習会
(裸婦・人物)
・美工系講演会
・夏季オープンスクール
(実技体験講座)



8月

・写生合宿(2泊3日)
・全国総文祭参加
・校外鑑賞学習
・中学生実技体験講座
・小学生対象美術講座



9月

・南翔祭作品展示
・秋季オープンスクール
授業見学



10月

・美工系講演会

11月

・実技補習(3年)
・校外写生学習



12月

・美術工芸系作品展
(岡山県天神山文化プラザ)



1月

・岡山県高等学校美術展

3月

・春季デッサン
コンクール
・日本画講習会



過去数年間
合格実績

国公立
大学等

私立
大学等

岡山大学・富山大学・岐阜大学・大阪教育大学・山口大学・香川大学・鳴門教育大学・佐賀大学・金沢美術工芸大学・愛知県立芸術大学・
京都市立芸術大学・神戸市外国語大学・岡山県立大学・尾道市立大学・広島市立大学・沖縄県立芸術大学・倉敷市立短期大学 等

武蔵野美術大学・多摩美術大学・東京造形大学・京都精華大学・嵯峨美術大学・京都芸術大学・同志社女子大学・成安造形大学・
大阪芸術大学・倉敷芸術科学大学・川崎医療福祉大学・ノートルダム清心女子大学・就実大学 等

※詳細は本校HPをご覧ください

1 年次

特別入学者

- 特別入学者は、1年次から美工系に所属することになります。2年次以降の系の変更はできません。
- 授業(週2単位)と放課後の時間で基礎的な課題に取り組みます。
- 画材のセットを入学時に購入してもらいます。(38,000円程度)



一般入学者

- まだ系には所属しません。
- 正式に2年次からの系を決定するのは1年次の9月ごろです。
- 希望者は1年次の始めから系の行事に参加できます。



2 年次

- 正式に系に所属します。絵画・デザイン・彫塑の3つの分野を体験した後、7月に各専攻に分かれます。
- 授業(週4単位)と放課後の時間で実技に取り組みます。
- 2年次の9月ごろ、進学の希望に合わせて3年次の授業を選択します。

絵画

風景油彩

静物木炭デッサン

自由制作・水彩

石膏木炭デッサン

デザイン

ポスター課題

ポスター課題

色面構成

静物鉛筆デッサン

彫塑

頭部立休作品(石膏取り)

手のクロッキー

手の粘土作品

制作風景(友人の頭部)

3 年次

- それぞれの進路希望に応じて、美術の授業数が週3単位～16単位と差があります。
- 個々の進路希望や力に合わせて個別の指導を行います。
- 普通教科の授業内容は、人文系・国際系など、他の文系と同じです。

3・4教科選択 美術 週5～16単位 実技重視型



デザイン



彫塑



5教科選択 美術 週3単位 学科重視型

- 志望大学の入試科目で5教科以上の科目が必要な人が選択します。
- 美術系以外の進路を考えている人もいます。
- 基本的な教科の学習内容は他の文系と同じです。



授業以外での制作



「やってみたい」を全力で応援してくれる環境

僕は中学生まで他県に住んでいたのですが、総社南高校はネットで集められる情報だけを見て決めました。だから、美術工芸系でどんなことを学べるかあまり深く知らずに入学しました。実際に入学したら、授業内外問わず様々な体験ができました。個人的にやりたいと思ったことも先生方は否定せずに最大限のフォローをしてくれて、自分の好きなことを見つけられました。僕は今、文字のデザインについて学んでいます。毎日大変で、それ以上に楽しいです。

39期生 鶴本 椰 (絵画専攻)



Q&A Your Questions Answered

美工に入ったら必ず美術部に入るのですか？

本校では、外部の画塾に通わなくても美術系大学に挑戦できるよう、授業および美術部活動を通じて実技指導を行っています。美術系進路を目指す生徒には、より多くの制作時間を確保できる美術部での活動をお勧めしています。他の部活動との兼部は可能ですが、制作時間を確保するための時間の使い方など工夫は必要です。

特別入試に備えてどのような道具をそろえればいいですか？

鉛筆を数種類そろえてください。特にHB～4Bは必ず(できれば最低でも2本ずつ)、それ以外の濃さの鉛筆もできるだけそろえておくと、色の幅を出せます。よく使う鉛筆は数本あると、途中で鉛筆を削る時間を省けます。それ以外には、消し具として普通のプラスチック消しゴム、さらにあると便利なのがデッサン用練り消しゴムです。

特別入試の実技問題はどんなものですか？

本校のホームページの、「中学生のみなさんへ」のコーナーに「入試情報」というページがあります。そこに入試の情報と過去問題が掲載されています。参考にしてください。



▲総社南高校ホームページ
www.sojam.okayama-c.ed.jp

在校生の声 We Love Art&Crafts Course



あたたかさの中で、自分らしい表現を育てていける

入学前に参加したオープンスクールで感じた温かい雰囲気は、入学後もそのままでした。明るくて気の合う友達が多く、自分のペースでのびのびと過ごせます。先生方はいつも生徒を気にかけてくださり、教え方も丁寧で分かりやすいです。作品へのアドバイスが欲しい時、私は自分から相談に行くことが多いです。先生方は私達が自分で考えて制作できるよう、程良い距離感で見守りながら指導して下さいます。総社南高校は学校全体に「縛りすぎない自由さ」があり、個々の表現を大切にできる環境だと感じています。

40期生 天野まお

※1単位=1時間